

日本体育科教育学会 第29回大会開催要項

(第二次案内)

- ◇ 主催 : 日本体育科教育学会
- ◇ 協力 : 立命館大学
- ◇ 後援 : スポーツ庁、滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、
京都市教育委員会、茨木市教育委員会、高槻市教育委員会
- ◇ 開催日時 : 令和6年6月29日(土)・30日(日)
- ◇ 会場 : 立命館大学大阪いばらきキャンパス 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150
TEL 072-665-2020 (<https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/oic/>)
JR 茨木駅より徒歩で約5分。

◇ スケジュール

【第1日目 令和6年6月29日(土) 12:00~17:40】(会場: グランドホール)

- 理事会 11:00~12:00
- 受付開始 12:00~
- 開会行事 13:00~13:10
- シンポジウム 「今の学校体育をどうみるか」(会場: グランドホール)
 - 13:10~13:15 シンポジウムの趣旨説明
 - 13:15~13:45 野井 真吾 先生(日本体育大学)
 - 13:45~14:15 藤田 紀昭 先生(日本福祉大学)
 - 14:15~14:45 岡出 美則 先生(日本体育大学)
 - 14:45~15:00 休憩
 - 15:00~15:20 シンポジストの意見交換
 - 15:20~15:50 小グループ討議(フロアでの討議)
 - 15:30~16:20 討議内容の情報交換・質疑応答
 - 16:20~16:30 総括
- <ポスター発表> 16:40~17:40 会場: ラーニングスタジオ B275、B276、C271
- 情報交換会 18:00~19:30 会場: イベントホール

【第2日目 令和6年6月30日(日) 9:00~12:25】

○研究発表

<口頭発表>

第1セッション 09:00~09:55 会場: C273、C274、C372

第2セッション 10:00~10:55 会場: C273、C274

<ラウンドテーブル>

第3セッション 11:15~12:25

会場: B275、B276、C271、C273、C274、C371、C372

◇ 課題研究シンポジウム

テーマ 「今の学校体育をどうみるか」

シンポジスト

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ■子どもの体（身体）を取り巻く今、現代的な課題・環境 | 野井 真吾（日本体育大学） |
| ■社会変化としての共生社会、社会と学校体育の現代的な課題 | 藤田 紀昭（日本福祉大学） |
| ■学校体育・体育授業のこれまでと今、現代的な課題 | 岡出 美則（日本体育大学） |

司会：荻原 朋子（順天堂大学）、山本 理人（北海道教育大学）

<テーマ設定の趣旨>

「現代社会は想像できないスピードで変化している。例えば、デジタル化、グローバル化、多様性、エネルギー問題、食糧問題、人工知能等、大きな変化が連続して起こっている。

これらの変化に呼応するように、教育においても、ギガスクール、デジタル化、オンライン教育、プログラミング教育、STEAM 教育、プロジェクトベースドラーニング等の検討や導入が進められている。

このような状況にあって、学校体育は、体育の目標、内容、方法、評価等に関して、また指導する教員の知識・技能の向上等に関して、教育における不易を踏まえながら、社会や教育の変化に対応していくことが求められる。児童・生徒の全人的な成長に向けて、学校体育を不断に改善するための検討を進めることは、本学会の重要な使命であると言えよう。

以上のことから、本企画を、日本体育科教育学会の学会企画として設定し、次世代における学校体育の在り方について、以下の観点から検討を行い、学校体育の存在価値を示すことに資する企画としたい。

次世代における学校体育の在り方について、①現在実践されている体育授業の観点、及び②他者（体育科教育関係者以外）との対談から導かれる学校体育の意義や価値を踏まえて、③過去及び現在の学校体育を理解しながら、未来の学校体育を検討する。これらの課題について、本学会では特別プロジェクトチームを立ち上げ、雑誌対談企画対談（「学校体育に期待すること」：各界の識者との対談・ダイアログを通して）と特別シンポジウムを本年度実施することとした。

そこで第 29 回大会のシンポジウムでは、現在、実践されている体育授業の観点、体育科教育学専門分野の周辺学問領域からみた子どもの現状や学校体育について言及していただき、「今の学校体育をどうみるか」をテーマとして設定した。本シンポジウムを踏まえた上で、特別シンポジウムⅡ「これからの学校体育をどう考えるか」につなげる。」

一般研究発表

<ポスター発表> 6月29日 16:40~17:40 会場 **ラーニングスタジオ B275、B276、C271**

- P-1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査に基づく体力・運動能力向上に関する施策の研究
山本 聖也（大阪体育大学大学院）
- P-2 「指導と評価の一体化」に向けた体育授業プログラムの開発及びその効果検証
南島 永衣子（玉川大学）
- P-3 小学校低学年を対象とした形成的授業評価法の開発
七澤 朱音（学習院大学）
- P-4 高等学校体育授業における向社会的行動に関する研究
古見 葵（横浜国立大学教職大学院）
- P-5 高等専門学校のモデルコアカリキュラムにおける保健体育の位置づけに関する研究
柴山 慧（環太平洋大学）
- P-6 共生の視点を重視した体育授業に関する事例研究
久保 賢太郎（玉川大学）
- P-7 管理職を経験した小学校教師のライフヒストリー研究
木原 成一郎（広島大学大学院）
- P-8 中学生の体力・運動能力は強く持ち越す
長野 康平（比治山大学短期大学部）
- P-9 中学校体育におけるICTを活用したマット運動の授業実践による心理的効果
松浦 佑希（宇都宮大学）
- P-10 天大中小単元におけるアダプテーション・ゲーム
村瀬 浩二（和歌山大学）
- P-11 学校から地域へ：「表現系ダンス」継続のための場作りと実践の工夫
新山 順子（岡山県立大学）
- P-12 小学校体育における「連鎖交互跳び」を取り入れた授業の効果
大森 宏一（大阪信愛学院大学）
- P-13 中学校体育授業におけるベースボール型教材の実践的研究
川崎 修（筑波大学附属中学校）
- P-14 ボール運動系領域における単元を通じた身体活動量の推移
篠原 俊明（共栄大学）
- P-15 小規模校での体育授業における生徒相互の関係性
中島 寿宏（北海道教育大学札幌校）
- P-16 中学校体育授業におけるベースボール型ゲームの縦断的研究
滝沢 洋平（大阪体育大学）
- P-17 中学校1年生を対象としたディスク型ボールを使ったサッカー授業の効果検証
富岡 宏健（広島大学大学院／広島大学附属三原中学校）
- P-18 研究会における体育授業公開の経験と小学校教師の発達
梅村 拓未（北翔大学短期大学部）
- P-19 体育における「日本型ウェルビーイング」の在り方
梅澤 秋久（横浜国立大学）
- P-20 普通科高等学校における共生体育実践
海野 天音（横浜国立大学教職大学院）
- P-21 中国における小学校高学年児童を対象とした体育授業評価尺度の開発に関する予備的検討
ZHAN LAN（立命館大学大学院）

<口頭発表> 6月30日

第1セッション(9:00~9:55)

A会場：C273 教室 座長：須甲理生（日本女子体育大学）

- O-1 保健体育科教員養成課程の模擬授業における学生の学びに関する研究
大村 悠真（広島大学大学院）
- O-2 北海道内の教員養成系大学による体育科模擬授業交流会の成果と課題
森 靖明（北翔大学）
- O-3 体育系大学の教員養成段階における体育の指導法に関する授業モデルの事例的検討
梶 ちか子（鹿屋体育大学）
- O-4 「現代的なリズムのダンス」における振付に頼らない指導法の検討
田巻 以津香（東海大学）

B会場：C274 教室 座長：近藤 智靖（日本体育大学）

- O-5 中学校体育授業における生徒の学習方略に関連する要因の検討
浅野 勇（北海道大学大学院）
- O-6 演題取り消し
- O-7 体育科教育における授業実践に対する行動分析学の適用
高山 智史（松本市教育委員会）
- O-8 体づくり運動における教師の発話に関する研究
戸田 圭美（東京学芸大学大学院）

C会場：C372 教室 座長：中島 寿宏（北海道教育大学）

- O-9 中学校保健体育におけるウェアラブル端末を用いた授業実践
下山 翔平（横浜国立大学教職大学院）
- O-10 小学校体育科を対象とした映像分析ツールの活用によるコミュニケーションの促進
橋元 真央（大阪教育大学）
- O-11 ゴール型ゲームの体育授業における学習成果につながる言語活動の検討
米村 耕平（香川大学）
- O-12 「伝える」活動を促進する学習規律の事例的研究
徳永 隆治（安田女子大学）

第2セッション(10:00~10:55)

A会場：C273 教室 座長：深見 英一郎（早稲田大学）

- O-13 小学校低学年「多様な動きをつくる運動遊び」における相撲教材の有効性
鳥山 大輔（富山大学教育学部附属小学校）
- O-14 かかえ込み跳びの学習指導に関する基礎的研究
坂本 康輔（環太平洋大学）
- O-15 ボール運動における子どものアクチュアルな世界にもとづく学習評価
鈴木 佑翼（三重大学）
- O-16 高等学校におけるベースボール型の学習機会の実態把握
中垣 貴裕（愛知学院大学）

B会場：C274 教室 座長：陳 洋明（国土舘大学）

- O-17 小学校体育授業における駅伝の実践とその効果

高田 由基（愛知学泉大学）

O-18 中学校における持久走／長距離走授業の実態に関する全国調査

松本 佑介（大阪成蹊大学）

O-19 小学校1年生を対象とした遠投距離の向上に向けた運動プログラムの開発

薄井 好人（八潮市立八幡中学校／日本体育大学大学院）

O-20 戦術学習モデルを適用した柔道授業の提案

川戸 湧也（仙台大学）

<ラウンドテーブル> 6月30日 11:15~12:25

第3セッション

R-1 **ラーニングスタジオB275** オーガナイザー：山本 理人（北海道教育大学）

ダンス授業と体育祭との有機的連関の構築

大西 祐司（びわこ成蹊スポーツ大学）

R-2 **ラーニングスタジオB276** オーガナイザー：山本 理人（北海道教育大学）

誰一人置き去りにしない体育を目指して

井谷 恵子（京都教育大学名誉教授）

R-3 **C271 教室** オーガナイザー：三田部 勇（筑波大学）

教員養成段階における「模擬授業」の探究

鈴木 理（日本大学）

R-4 **C273 教室** オーガナイザー：三田部 勇（筑波大学）

若手研究者のための研究・教育支援：教育と研究の好循環に向けて

近藤 良享（元名古屋学院大学・TSI 研究支援室）

R-5 **C274 教室** オーガナイザー：細越 淳二（国土舘大学）、吉永武史（早稲田大学）

指導内容の精選を下支えとする体育授業の提案

安本 直哉（茨木市立春日小学校）

R-6 **C372 教室** オーガナイザー：荻原 朋子（順天堂大学）

体育および保健における外国人児童生徒等のインクルーシブ教育の実現に向けて教員が学ぶべきことは何か？

戸村 貴史（福山大学）

R-7 **C371 教室** オーガナイザー：荻原 朋子（順天堂大学）

何のために教科として体育を学ぶのか

野津 一浩（静岡大学）

※注意事項

- 会場内は全面禁煙となります。また、周辺道路も茨木市条例により路上喫煙禁止となっておりますので、ご協力をお願いします。
- JR 茨木駅、阪急南茨木駅、モノレール宇野辺駅等、公共交通機関をご利用ください。自動車・自転車・バイクでの来校はご遠慮いただきますようご協力をお願いします。ただし、車いす利用がある場合はご相談ください。
- ごみはお持ち帰りをいただきますようご協力をお願いいたします。
- 教室内は、ペットボトル等蓋の閉まる飲料を除き、原則飲食禁止とさせていただきますので、ご了承ください。